



ふじみ野市

文化財だより

発行日 令和6年10月18日
発行者 ふじみ野市教育委員会
社会教育課文化財保護係

TEL 049-220-2088

FAX 049-261-5100

第12号
bunkazai@city.fujimino.saitama.jp



市指定文化財の修復報告

あみだによらいぞう 阿弥陀如来像（安楽寺）

安楽寺の本像である阿弥陀如来像は、江戸時代初期の作と考えられる貴重な文化財として、昭和47年6月1日に市指定文化財に指定されました。長年の経年劣化などから、令和5年度ふじみ野市文化財保存事業補助金により、令和5年8月17日、長野県千曲市の信濃仏像修復所へ搬入し修復を開始しました。

修復は、制作当初の姿に戻すのではなく、現状を維持する修復方法とし、彩色部分の剥落止めや剥落が進んでいる部分の補修・補彩と、緩みがみられる部分の解体・組み立て・補強、また欠失箇所を木屎漆（おがくずと小麦粉を漆で練ったもの）で充填・成形しました。曇りが見られた水晶製の肉髻珠、白毫は磨き直し、輝きを

取り戻しました。

令和6年3月9日、修復を終えた本像は安楽寺に戻され、3月20日には本尊開眼法要が執り行われました。これまでご住職や檀家の皆さま、地域の人によって守り伝えられてきた安楽寺の本尊は、これからも末永く人々を見守り続けてくれることでしょう。



●所在地駒林866

阿弥陀如来像修復の様子と内容



①筆や綿棒等で長年の汚れを清掃。



⑤膝前部材、膝前上両前膊部材組み付け。



②像全体表面仕上げの にかわすい 膠水による剥落止。



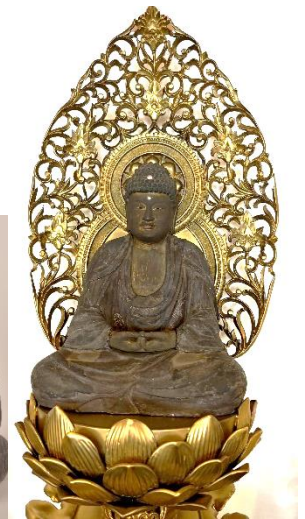
⑥ ほみ 矧ぎ目の木屎漆による充填整形補修。



④像底接着剤除去。



③膝前上 両 前膊部材、両手首先部材、膝前部材の解体。



⑦背面の補彩前後の様子。剥落で白色下地が見える部分を黒色仕上げの補彩を実施。修復終了。

修復工程	修復内容
搬出	現状確認後、安楽寺から搬出。
①清掃	像全体の清掃。筆等で埃を払い落とし。漆塗、漆箔部はエタノールや水を用いて綿棒等で汚れを除去。
②剥落止め	像全体表面仕上げのメチルセルロース、正麯糊、 しょうもろり 膠水による剥落止め。
③部分解体	膝前上両前膊部材、両手首先部材、膝前部材の解体。
④像底接着剤除去	像底の接着剤残欠を除去し水平を保ち安定を図る。
⑤組付け	膝前上両前膊部材、両手首先部材、膝前部材の膠による組付け。
⑥補修	右腰部損傷箇所と矧ぎ目の木屎漆による充填整形。
⑦補彩、修復終了	後補彩色部は必要に応じて補彩。表面彩色剥落部は下地の白色下地が残存、露出し尊容を損ねているため、白色下地下層の黒色仕上げ層の色調に合わせ補彩。
報告書作成、搬入	報告書作成、安楽寺へ搬入。修理状況確認。



最新出土品展を開催しました



最新出土品展—ふじみ野市の中世—

上福岡歴史民俗資料館（9／3～29）と旧大井村役場（10／1～20）で最新出土品展が開催され、長宮遺跡の調査成果を中心に、ふじみ野市内で新たに見つかった遺物などが展示されました。その中から、今回は中世特有の遺物である板碑^{いたび}を紹介します。



図① 長宮遺跡 62 地点出土の板碑破片
（左）写真 （右）拓本

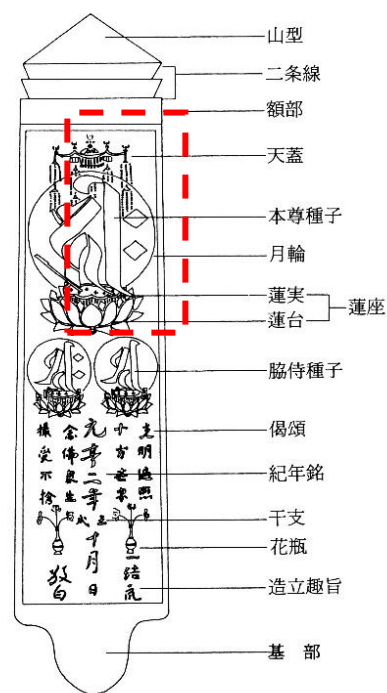
板碑の破片に目を凝らして見てみると、阿弥陀如来を表す梵字の「キリーク」と、阿弥陀如来が座る蓮座^{ぼんじ}をイメージしたモチーフが彫られていることが読み取れます。これらの板碑は、鎌倉時代から戦国時代に至る日本の「中世」と呼ばれる期間に、集中的に作られました。亡くなった人の冥福を祈るために作られた板碑もあれば、現世の幸せのため、生きている間に作られた板碑もあります。争いを繰り返す過酷な時代に生きた人々が、熱心に神仏にすぎた様子が伝わってきます。

図①は破片ですが、完全な形で見つかる板碑のなかには、図②に近い姿をしているものが多くあります。図①はちょうど、図②の破線で囲まれた部分が残ったものです。

ふじみ野市を含む関東地方に分布する板碑は、県内の秩父市や小川町・長瀬町付近で採取される、薄く加工しやすい緑泥片岩^{りよくていへんがん}で作られているのが特徴です。このような板碑を、「武蔵型板碑^{むさしがたいたび}」と呼びます。

本年度の最新出土品展は終了してしまいましたが、長宮遺跡から出土した応安5（1372）年銘の板碑をはじめとする市内の代表的な板碑は、上福岡歴史民俗資料館の常設展で見学することができます。

今年はどんな新発見があるのでしょうか。次回の最新出土品展の開催を楽しみにお待ちください。



図② 板碑模式図

（『埼玉県板石塔婆調査報告書』より、一部改変）

イベントカレンダー

*開催時間等、詳しくは市広報等でご確認ください。
*天候等の状況によっては、内容を変更しての開催または中止にする場合があります。

10月

1日(火)～20日(日)	最新出土品展～ふじみ野市の中世～	旧大井村役場
2日(土)～30日(水)	特別展示大井小学校 150周年記念展示	大井小学校
23日(水)～11月27日(水)	福岡河岸記念館特別公開	旧大井村役場
12(土)	にほんごカフェ	福岡河岸記念館
19(土)	「古民家で聞く落語」	ステラ・イースト
20日(日)	竹トンボをつくろう	福岡河岸記念館
26日(土)	上福岡歴史民俗資料館・上福岡歴史民俗資料館友の会	上福岡歴史民俗資料館
27日(日)	共催学習会「ふじみ野市のふしぎと魅力発見～ふじみ野市があるのは…があったから」	上福岡歴史民俗資料館
29日(火)	東台小学校ほうき特別授業	東台小学校

11月

2日(土)	福岡河岸記念館特別公開	福岡河岸記念館
16(土)	埼玉県景観重要建物で聴く ちいさな古典芸能～箏と尺八～	福岡河岸記念館
17日(日)	第2回やさしい日本語まちさんぽツアー「防災館に行ってみよう～じしん・かじのとき、どうする?～」	入間東部地区消防組合 防災館・西消防署
23日(土・祝)	記憶をつなぐまちあるき～あの日あの頃に出会い直す～	福岡中央公園、上福岡歴史民俗資料館
24日(日)	入間東部地区文化財保護連絡協議会「入間東部史～40年の研究成果～」	富士見市立ふじみ野交流センター
30日(土)	ミニほうきづくり体験①	福岡河岸記念館

12月

8日(日)	水引体験「ミニクリスマスツリー」	旧大井村役場
15日(日)	「戦後地域史料を読む」研究会	上福岡歴史民俗資料館
10日(火)	洋館で聴くライブコンサート	旧大井村役場
21日(土)	にほんごカフェ	ステラ・イースト
20日(金)・24日(火)	古文書講座中級編①②	上福岡歴史民俗資料館

●文化財日誌 (令和6年4月)

- 4/9 資料館・文化財ボランティア会議
(5/7、6/4、7/2、8/6、9/3)
- 4/13 ほうきづくり友の会 総会
- 4/15・22 文京学院大学「地域と学校Ⅰ」授業
- 4/16 さぎの森小学校文化財展示室作業
(4/23、5/14・21・28、6/11・18・25 実施)
- 4/20 やさしい日本語定例会・やさしい日本語カフェ
(5/18、6/15、7/20、9/21 実施)
- 4/21 資料館友の会研修
- 4/23 入間東部地区文化財保護連絡協議会
第1回幹事会(第2回7/10、第3回9/3)
- 4/26 入間地区社会教育協議会文化財担当者部会総会
- 4/27 第1回やさしい日本語まちさんぽツアー
ほうき友の会種まき①(2回目5/12)

●文化財日誌 (令和6年5月～9月)

- 5/14 入間東部地区文化財保護連絡協議会理事会
- 5/24 入間東部地区文化財保護連絡協議会総会
- 6/6 第1回ふじみ野市文化財保護審議会
- 6/20 東台小学校ほうきづくり体験学習①(種まき)
- 7/13 体験学習「機織り」①
- 7/20 ほうき友の会 収穫・脱穀(2回目8/3)
- 7/22 入間地区社会教育協議会第1回さわらび編集会議
- 7/31 権現山探検「権現山の大地を探ろう」
- 8/1 埼玉県文化財保護協会第69回文化財講習会
- 8/17 体験学習「機織り」②
- 8/20 第2回ふじみ野市文化財保護審議会
- 9/14 体験学習「機織り」③
- 9/15 資料館 第1回学習講座「ふじみ野市の中世」
- 9/17 東台小学校ほうきづくり体験学習②(収穫・脱穀)
- 9/20 入間地区社会教育協議会文化財部会研修

市内の文化財・遺跡情報が満載
遺跡情報システム

▼2024年9月アクセス数9628件
(昨年比+4639)



近場で楽しもう!文化財ガイド

市内の文化財、神社仏閣、
文化財説明板などを紹介した
ガイドマップです。

